

ふじしろ政夫と共に市政を変える会

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会 ニュース04年5月号

〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50 TEL047-445-9144(FAX 兼用)

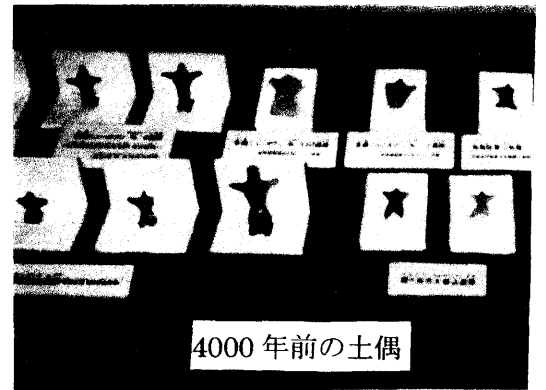
ホームページ <http://chiba.cool.ne.jp/fuzishiro> Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com

かまがやの土偶をみつめて

4000年前の土偶が、大堀込遺跡（4中校庭付近）から、発見されているとの事。展示会場（3/20-4/25 三橋記念館）では、郷土資料館の方からの説明がありました。

谷津をはさんで、北側に“やじり”と“土偶”の大堀込、南側には、多くの貝とその貝に覆われた人の遺骨が非常に完全な形で残っている根郷貝塚。山のムラ、海のムラといった異なる生活様式のムラが、谷をはさんで、同じ地域に、同じ時代に存在したわけです。

“やじり”の黒曜石は、神津島からもたらされたものです。“土偶”は、本来千葉県の中に存在せず、多摩丘陵地域から伝わったという説明がなされました。縄文の人々の生活は、今、わたし達が、思う以上に人の、物の交流のある、しかも、異文化が共存できた社会であったといった感を強くしました。



千葉県障害者計画タウンミーティング



第三次千葉県障害者計画について、当事者をはじめ、多くの市民の参加した「タウンミーティング」が、4月17日柏市で開催されました。堂本知事、柏、我孫子、流山、沼南の市町長も参加し、市民と共に真剣に議論が交わされました。



2001年WHO（世界保健機構）の制定した「国際生活機能分類」によって、従来の医学的、不可逆的な障害者観から転換して、障害者手帳を持つ人のみならず、支援を必要とする人を広く「障害者」と捉えていこうとするものです。

“誰もが、ありのままに、その人らしく地域で暮らす”という地域福祉観に基づき、障害者が障害を克服した上で、地域に戻るのではなく、障害者を含めた全ての地域住民一人ひとりが、ありのままの姿で、地域社会の当然の一員という視点の必要性が多くの方から語られました。

一部事務組合情報公開へ開かれた議会をめざして

3月24日代表者会議で「沼南白井鎌ヶ谷環境衛生組合」の組合議会の内容を、組合議員が鎌ヶ谷市議会に報告するようにしようと提案され、了承されました。今後、議事録を含めて組合議会の内容が、市議会へ伝えられることとなりました。

一部事務組合である「沼南白井鎌ヶ谷環境衛生組合」は、鎌ヶ谷市のごみ行政の99%を請け負っているにもかかわらず、独立性を強調し、その情報公開は遅れていました。



新鎌ヶ谷区画整理 住民の納得のいく形で！



新鎌ヶ谷の『街びらき』が、4月3日に行われ、鎌ヶ谷の顔としてのまちづくりが、力強くスタートしました。多くの地権者、住民の協力によって、これまで進んできたわけですが、この区画整理という手法は、住民へ多くの負担をかけるという事実もあります。

土地の面積が、62%ほどになってしまう（減歩）こと、移転後の建物への補填の額が不十分などを住民から指摘されています。先月も（4月）清水市長も出席し、住民と都市基盤整備公団との話し合いがもたれました。公団側は、あくまでも法律にのっとって、公共補償基準によるものですとの主張を繰り返しました。住民からは、「十数年前に決定してから今日まで何一つ要求、質問に誠意をもって答えていない」「ここで暮らしている住民の立場に立って考えてみてください」と切実な要求、願いが出されました。

今後、住民の気持ちを充分にくみ、情報公開や情報提供など、真摯な対応が公団側に求められます。住民が、本当に安心する形で、新鎌ヶ谷の街をつくっていききたいものです。



自衛隊派兵がもたらした危機

イラクで、人道支援のボランティア活動をしている今井さん高遠さん、フリーのジャーナリスト郡山さんの三人が、武装勢力に拘束され、三日以内に自衛隊を撤退させなければ殺すという事態が発生しました。（4/8）

「三人の命を救おう」「自衛隊のイラクからの即時撤退を」首相官邸周辺に連日市民の声。心配していたことが起こってしまいました。多くの人々の努力のおかげで、事件発生から一週間目に、やっと無事解放されました。（4/15）本当によかった。

外から見れば、軍隊の自衛隊をベトナム戦争状態の戦場・イラクへ送り込むことは、米英軍の大義なきイラク戦争を全面肯定し、さらに、

軍事占領政策に協力することとなり、イラクと米英軍との軍事対立の真っ只中に入り込むことを意味すると指摘されておりました。

それゆえ、ボランティアの方々からは、自衛隊がイラクに入ってくるほうが、危険が増大するとも言われておりました。


そして、4月以降米軍は、ファルージャをはじめ、モスク等市民生活の場へ爆弾を落とし、1000人以上のイラク市民を殺害しています。

今回の事件は、日本がイラクへ自衛隊を送り、全面的に米軍に協力していくことの中に、その原因があるということをはっきりと認識する必要があります。

「危険なところに行った三人が悪い」「自己責任だ」「金がかかった」と、まったく事態を引き起こした根本原因にふれない形での家族・三人へのバッシングは何を意味するのでしょうか。なんて冷たい国なのでしょう！

憲法に、自衛隊法に、そしてイラク特措法にすら違反している自衛隊のイラク派兵を中止して、即刻撤退させる事こそが、イラクへの真の人道支援への道の第一歩だと思われれます。

< 5月の予定 >

- 5月3日憲法記念日の集い：
松戸市民会館 14:00-17:30
天木直人さんの講演 500円 
- 第三次千葉県障害者計画ミニタウンミーティング 5月8日 14:00-16:00
会場：まなびいーぷらざ
- ちょっと気にして！平和憲法講演会
5月9日 13:30-
奥津茂樹さんの講演
会場：まなびいープラザ



トライの予定

- ☆市民なんでも相談（10:00-16:00）
5/5(水) 5/19(水)
- ☆弁護士無料法律相談：要予約
5月22日(土) 13:00